

第5回

朝霞市総合計画審議会議事録

令和6年5月14日

政策企画課

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	第5回朝霞市総合計画審議会	
開催日時	令和6年5月14日（火） 午前10時00分から午後0時2分まで	
開催場所	朝霞市役所別館5階 501、502会議室	
出席者及び欠席者の職・氏名	別紙のとおり	
議題	（1）朝霞市の将来像や基本概念について （審議会委員によるワークショップ）	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議次第</li> <li>・資料1 会議スケジュール</li> <li>・当日配布 総合計画策定の流れ</li> </ul>	
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 委員全員による確認	
傍聴者の数	1名	
その他の必要事項		

出席委員（15人）

会	長	知識経験者	中村年春
委	員	市議会議員	飯倉一樹
委	員	市議会議員	陶山憲雅
委	員	市議会議員	田辺淳
委	員	農業委員会	秋山磨弥
委	員	教育委員会	平木倫子
委	員	関係団体	高橋甚次
委	員	関係団体	渡辺淳史
委	員	関係団体	渡邊俊夫
委	員	知識経験者	原田晃樹
委	員	公募市民	浅田陽子
委	員	公募市民	一宮光夫
委	員	公募市民	酒井正弘
委	員	公募市民	高橋満
委	員	公募市民	原田佐登美

欠席委員（5人）

副	会	長	関係団体	松尾哲
委		員	関係団体	加藤弘樹
委		員	知識経験者	内田奈芳美
委		員	知識経験者	星野敦子
委		員	知識経験者	村上文洋

事務局（10人）

事	務	局	市長公室長	稲葉竜哉
事	務	局	市長公室次長兼政策企画課長	櫻井正樹
事	務	局	同課主幹	齋藤欣延
事	務	局	同課長補佐	山本雅裕
事	務	局	同課政策企画係長	石崎博貴
事	務	局	同課同係主任	山本良太
事	務	局	同課同係主任	伴仲邦彦
事	務	局	同課同係主事	伊藤舞香
事	務	局	まちづくり推進課主幹兼課長補佐	持田宏行
事	務	局	同課都市計画係長	濱野孝雄

ワークショップグループ分け

	A	B	C
1	飯倉一樹	陶山憲雅	田辺淳
2	秋山磨弥	平木倫子	渡邊俊夫
3	高橋甚次	渡辺淳史	原田晃樹
4	一宮光夫	浅田陽子	酒井正弘
5	—	高橋満	原田佐登美

## 審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

### ◎1 開会

#### ○事務局（齋藤主幹）

それでは、定刻となりましたので、第5回朝霞市総合計画審議会を開会します。

本日は、松尾副会長、加藤委員、星野委員、内田委員、村上委員から欠席の連絡をいただいています。また原田晃樹委員からは、遅れて出席される旨の連絡を受けています。

はじめに、資料の確認をします。

本日の会議資料は、机上に配布させていただいた

- ・会議次第
- ・資料1 本日のスケジュール

でございます。また、

- ・市民ワークショップ調査報告書
- ・小中学生アンケート調査報告書
- ・分野別市民懇談会調査報告書

をお配りしています。

こちらの報告書については、委員の皆様からいただいた御意見等を踏まえ、修正を加え、取りまとめたものです。これらの報告書は、後日、市ホームページでも公表します。

次に、前回の審議会以降のスケジュールを反映した総合計画の策定の流れも配布させていただきましたので、参考にいただければと存じます。

最後に、本日の会議に当たり、前回の審議会資料である資料4-1と4-2を御持参いただくようお知らせいたしました。お持ちでない方は事務局にお申し付けください。全てお揃いでしょうか。

次に、第6次朝霞市総合計画は都市計画マスタープランと連携して策定を進めていることから、本日、都市計画マスタープランを所管するまちづくり推進課の職員も同席しています。

それでは、以後の会議の議事は、中村会長に進行していただきます。中村会長、よろしくお願ひします。

#### ○中村会長

皆様、おはようございます。本日は朝早くからお集まりいただきありがとうございます。

さて、これまで審議会において議題として取り上げ議論してきた中で、まだ審議に付されていない事項や課題が多々あります。ただ、それ以上に、委員の皆様のご多くは朝霞市にお住まいですが、朝霞市以外からおいでいただいている委員も何人かいらっしゃるため、朝霞市の現状について委員全員がしっかりと情報を共有しているかどうか、不安な部分がありました。

そこで、本来であれば、議題を提示して、それについて十分な審議を行うのが、審議会としてのあるべき姿だと思うのですが、今後の審議を円滑に推進するため、本日の審議会では少し趣向を変えて、事務局からの提案を受け入れワークショップを実施することにいたしました。第5次朝霞市総合計画策定時にも、審議会でもワークショップを実施した経緯があり、今回もワークショップを実施して、朝霞市の現状把握と情報の共有を図り、それを朝霞市の将来像を考える際の一助にしてもらおうというのが狙いです。これまでの審議会における議論の推移から判断して、今後の審議の展開を思量したときに、ワークショップを実施することはかなり意義があるだろうと考えました。審議会委員の皆様は、ワークショップにかなり手慣れた方ばかりですから戸惑いはないと思いますが、各テーブルにマネージャーを配置しています。お手数をお掛けしますが御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

次に、本会議は、市政の情報提供及び審議会等の会議開催・公開に関する指針に基づき、原則公開と決定し、傍聴要領に基づいて傍聴を許可しています。本日は、現時点で1名の方から傍聴の希望があり、既に会場にお入りいただいています。また、会議の途中で傍聴希望者が現れた場合には、傍聴要領に沿って入場させますのであらかじめ御了承ください。

では、限られた時間ですから、早速本日の議題である「朝霞市の将来像や基本概念について」をテーマとするワークショップを実施していきたいと思ひます。

## ◎2 議事

### (1) 朝霞市の将来像や基本概念について

#### ○中村会長

まず、本日のワークショップの進め方について、事務局から御説明をお願いします。

#### ○事務局（石崎係長）

本日のワークショップについて御説明します。

はじめに、以前の審議会において、審議会でのワークショップを希望する御意見があったので、全体のスケジュールを見まして、今回実施するのが良いと考え、会長とも相談し、了承を得た上で、今回議題の変更をさせていただきました。

それでは、資料1を御覧ください。ワークショップの大まかな時間配分として、各テーマについてそれぞれ45分とし、2つのテーマで計90分間行っていただきます。その後、1グループ5分程度で、各グループでの討議内容を発表していただき、その発表が終わりましたら、グループごとに意見交換をしたいと考えています。

なお、各グループにおけるワークショップの進行担当は、大変恐縮ですが、あらかじめ事務局より御指名をいたします。グループAは飯倉委員、グループBは渡辺淳史委員、グループCは原田晃樹委員にそれぞれお願いします。

ワークショップのテーマは、①「朝霞市の強み・弱み」、②「朝霞市が目指すべき方向性のキーワード」の2つとします。この2つのテーマについて、「こんな朝霞市にしたい」という視点から、御意見を出していただきたいと存じます。

各グループにおいては、「ブレインストーミング方式」により自由に意見を出し合って、グループワークを行ってください。

では、「ブレインストーミング」について、簡単に御説明します。「ブレインストーミング」は、参加者が意見を出し合って、自由に討議しながら独創的なアイデアを導き出す集団思考法です。アイデアや意見は付箋に書き出しますが、1つのアイデアや意見につき、付箋1枚を模造紙に貼ってください。守っていただきたいルールは、「出された意見に対する批判はお互いにしない」ということです。結論を出す必要はありません。また、自由に意見を出していただき、質より量を重視してください。

「ブレインストーミング」は、アイデアを結合し発展させるものなので、グループの中で出された意見に対して相乗りしても構いません。たくさんの意見を模造紙に貼っていただきたいと存じます。ブレインストーミングについての説明は、以上となります。

なお、意見出しは、1つのテーマにつき30分程度を目安としてください。意見出しの際は、テーブル上に付箋を置いていますので、1枚の付箋につき1つの意見を御記入いただき、模造紙に貼ってください。

付箋の使い方ですが、テーマ1では朝霞市の良いと思うところ（強み）を赤色の付箋に、朝霞市の改善が必要と思うところ（弱み）を青色の付箋に書き出してください。また、テーマ2では、黄色の付箋を御使用ください。

次に、意見の取りまとめは、参加者からある程度の意見が出揃ったところで、1つのテーマにつき15分くらいを目安として行ってください。同じような意見をまとめて分類・類型化をしていただきたいと存じます。

最後に、グループごとの意見内容を発表していただき、意見交換を行います。グループ発表については、それぞれ5分程度をお願いします。ついては、各グループでどなたが発表するか、事前にお決めいただきたいと存じます。説明は以上です。

#### ○中村会長

石崎係長、御説明ありがとうございます。

ただいま、事務局から本日のワークショップ及びグループワークの進め方について説明がありました。本日のワークショップの狙いは、将来の方向性として「このような朝霞市にしたい」という、朝霞市の将来像に繋がるイメージや、将来像の実現に向けて、どのような理念や方針で実現していくか、を探るところにあります。第5次朝霞市総合計画の策定にあたっては、グループワークを中心としたワークショップを実施して、基本概念や政策を立案推進するための留意点を探りました。個別にいただいた御意見がある程度まとめて類型化すると、政策の基

盤となる枠組みが見えてくるのではないかと考えています。そういう意味で積極的な御意見をお願いします。

それでは、ただいまの事務局からの御説明に対し、御質問や御意見のある方はいらっしゃいますか。田辺委員、お願いします。

○田辺委員

今日の審議会の内容について、ここに来て初めて知りました。市民ワークショップをいろいろと開催されているのを傍聴もしましたが、審議会をこういう形式で開催するというのは、どう決められたのか伺いたいです。申し訳ないですが、時間つぶしにしか感じられません。皆さんそれぞれ仕事を持った人たちがここに来て、真面目に今後の朝霞市の総合計画策定に関わる審議をしようと参加していて、多くの市民のワークショップのまとめがここに出されているわけです。我々はそれを解析する必要はあると思います。審議会とは別に勉強会などでワークショップを行うというのなら分かりますが、この場でワークショップをする意味が理解できません。第5次朝霞市総合計画の検証をまず行うべきと再三申し上げてきましたが、それには触れずに、なぜ第6次朝霞市総合計画策定に向けた朝霞市の弱みや強みなど漠然とした話をここでしなくてはいけないのか、私にはまったく理解できません。やり方がおかしいのではないですか。しかも事前に我々に資料も提供されない中で、今回こんな形で開催されています。

○中村会長

田辺委員、ありがとうございます。

事務局から御説明いただけますか。櫻井次長、お願いします。

○事務局（櫻井次長）

議題の変更ということで、委員の皆様には事前に通知をお送りいたしました。課題の洗い出しからという御意見をいただいておりますが、事務局としては、基本構想の基本概念について将来像を描いて、それを実現するために何が必要かとの考え方と、課題を洗い出し、必要な対応を考えていく方法の、両軸で進めたいと考えています。課題の抽出については、前回見ていただいた取りまとめ表を基に、全庁的に照会し、取りまとめを進めているところです。今回は、基本概念を将来像の方から考える軸ということで、市民の皆さんの意見については資料等で御覧いただいておりますが、改めて委員の中で意見を出しあっていたらいいと考えて、このような場を設けた次第です。

○中村会長

櫻井次長、ありがとうございます。

田辺委員、お願いします。

○田辺委員

第6回策定委員会を4月30日に開いていますが、その内容はどのようなものだったのでしょうか。審議会でこのようなことをやっていただいて、策定委員会でもワークショップのようなことをしたのですか。審議会と策定委員会は密に連携をとるべきだと思いますが、策定委員会について何も情報がありません。第5回、第6回と開催されていますが議事録がホームページに掲載されていないので、我々には何も公開されていません。少なくとも、策定委員会でどのようなことをしたのかなどは我々に伝えてください。

○中村会長

櫻井次長、お願いします。

○事務局（櫻井次長）

ホームページの会議の公開については、手順を追って進めています。第6回策定委員会では、第4回朝霞市総合計画審議会の結果を報告し、市として基本構想と課題の抽出の両軸で進めることを確認しました。また、第5次朝霞市総合計画後期基本計画総括評価シートについて改めて審議会に出た意見を伝え、様式を確定して全庁に照会しています。

○中村会長

田辺委員、お願いします。

○田辺委員

策定委員会で第5次朝霞市総合計画の検証はしているのですか。

○中村会長

櫻井次長、お願いします。

○事務局（櫻井次長）

現在、課題等の抽出を庁内で行っているため、整い次第、議題としようと考えています。

○中村会長

田辺委員、お願いします。

○田辺委員

審議会も含めて、どういう流れで進めるのか明確にさせていただきたいと思います。今回は時間もないのでこういう形をとりますが、この後第5次朝霞市総合計画の検証をすることを確認したいです。それ無しに第6次朝霞市総合計画の抽象的な議論はできないと思います。

○中村会長

櫻井次長、お願いします。

○事務局（櫻井次長）

第5次朝霞市総合計画の振り返りは、課題の抽出、評価の資料が揃い次第、外部評価委員会の第5次朝霞市総合計画後期基本計画の評価と合わせて、策定委員会や審議会にお示しして、御意見を踏まえつつ進めたいと考えています。

○中村会長

田辺委員、櫻井次長、ありがとうございます。

事務局にお願いします。できるだけ早く第5次朝霞市総合計画の評価を審議会に提出していただきたいです。第5次朝霞市総合計画で実施できた部分、課題として積み残された部分が可視化されると本審議会における今後の審議を円滑に遂行できるので、審議会に早く提示して欲しいです。策定委員会についてもできるだけ早く処理をしていただいて、審議会に提示していただくようお願いします。御検討ください。

では、ワークショップを始めます。90分間、グループの中で適宜休憩を挟みながら進めてください。テーマ1については、10時45分頃まで、その後意見の取りまとめを15分程度でしていただきます。テーマ2については、11時30分頃を目途に意見を出していただき、その後15分程度で意見の取りまとめを行ってください。それではワークショップを開始してください。

（ワークショップ）

○中村会長

それでは、各グループともある程度意見がまとまったようなので、それぞれのグループに発表をしていただきます。1グループ5分程度でお願いします。Aグループから順次発表してください。

○飯倉委員（Aグループ）

Aグループの議論の流れと意見について説明させていただきます。左側に掲示した模造紙が強み・弱みについてのブレインストーミングの結果ですが、見ての通り弱みの付箋が非常に多かったです。良いところもたくさんあるのですが、概念的な意見が多かったです。交通の便が良いと言っても、都内へのアクセスなのか、それ以外の場所へのアクセスなのかというように、具体的な意見は少なかったです。市民の意識としては埼玉県民であるという意識が強い、朝霞市が誇れる彩夏祭があるといった良い面はありますが、朝霞市というよりも、4市の中の朝霞市という関わり方に関する意見が多かったのがこのグループの特徴だと思いました。朝霞市には税務署など行政施設が多いため、朝霞市というよりも、広域の中での朝霞市の関わり方について、相対的に他の市よりも優れているという趣旨の意見が出ました。

一方、課題としては、強みと表裏一体の意見が多く、交通の便が良い反面、朝霞市への意識が希薄になる、東京に行けば何でもあるため朝霞市には作らなくていい、地域の繋がりについては、便利な場所なので地域と関わり合いがなくてもいい、まちなかの問題は、近くにいいものがあってアクセスできるので、なかなか解決に向けて進んでいかない、といった課題が出ました。象徴的な強み・弱みとしては、喫緊の大きな問題がないことが、最大の朝霞市の強みであり、悪い点はないが、かといって良い点の具体的な部分がなかなか出てこないところ、良く



も悪くもちょうどよいところが朝霞市らしいところで、朝霞市の強み・弱みを象徴するのかなという話が議論の中で出ました。

この議論を基に、朝霞市が目指すべき方向性についてブレインストーミングをしたのですが、良い方向へ進むための意見はなかなか出てきませんでした。漠然と良いものを、どうやって具体化するかという視点では、市民の気持ちなど感情面への配慮が必要で、シビックプライド、朝霞市になぜ住んでいるのか、地域への関わりをどう育むか、といった部分に観点を向けた方が良いのではないかという意見がありました。また、市民の思いだけではなく、市外との関わりについて、広域の中での朝霞市を意識しなくてはいけないのではないかという意見も出ました。将来的な合併の話も出て、どうしても朝霞市内だけでは物事が完結しない中で、具体的な合併の話を探索していくことも必要かなと思いました。

地理的には恵まれているので、地域の中心となるようなエリアを目指すことも必要で、埼玉県全域で言えば、大宮や浦和など、行財政の中心になっているエリアがあるため、朝霞市だけではなく、この地域の中心となるエリアを目指していく必要があるという話も出ました。

交通の便について、市外へのアクセスは良くても、市内のアクセスがおろそかにされているという声が出たので、市内のバスの増加など、生活の足を心配しなくてもいい状況を作り上げることも必要であるという意見がありました。

朝霞市は強みと弱みがぼんやりしている中で、いかにまとめていくか、気持ちを一つに作っていくかということの難しさを感じました。地域や学校単位でもこういった取組をして、関わりを持っていけると良いと感じました。以上です

○中村会長

飯倉委員、Aグループの発表ありがとうございました。

では次に、Bグループ、発表をお願いします。

○陶山委員（Bグループ）

良い面と悪い面の意見が同程度出ましたが、良い面の裏には必ず悪い面があるため、どちらも言えません。自然環境においては、都内へのアクセスが良い割に、自然環境が良いという意見がありました。交通については、市外へのアクセスは良いが、市内の交通手段が少ないという意見が出ました。都市建設については、車道と歩道の整備ができていない箇所が多々見受けられるという意見がありました。災害については、災害に強いまちだと個人的には思っています。一方で、市民の防災意識が低いという意見が出ました。生活については、子育て世代が多いのに子育て支援が薄い、自治会が機能しているが、転入者の自治会加入が少ないという意見がありました。文化については、公共施設が充実しているが修繕は必要、教育の環境は充実しているが、教育環境のより一層の整備が必要であるという意見が出ました。地場産業が少ないので、高齢者の就業の場が少ない、広報については、彩夏祭、ぼぼたんなどシティプロモーションには力が入っているが、人を集められる観光名所等が少ないという意見が出ました。

Bグループの総まとめとして、安全で安心なまちづくりは当然のことですが、世代を超えて楽しめるまちづくりが必要で、既存の施設・設備等も含めて各世代に応じた施設やイベントが必要になってくるのではないかということです。市民各世代のニーズに応じた行政の考え方が必要ではないかということでした。以上です。

○中村会長

陶山委員、Bグループの発表ありがとうございました。

最後に、Cグループ、発表をお願いします。

○酒井委員（Cグループ）

Cグループは、将来像の基本概念的4つのコンセプトに応じた強み・弱みを出しました。見た限り、安全・安心は赤い付箋がありません。つながりもほぼ青い付箋で、ここが朝霞市の弱みではないかと思いました。安全・安心については、道路が狭い、災害に弱い、黒目川や新河岸川など、水に弱いという意見が出ました。また、施設の老朽化などのワードも出ました。

つながりについては、自治会・町内会など地域のコミュニティが非常に弱いと思います。強みは、朝霞市の一大イベントである彩夏祭ですが、他の意見は弱みです。キーワードでいうと地域間格差や世代間交流が非常に不足しているとみられました。

子育ては、待機児童が減っている、都心に近い、川遊び、公園など、遊び場が多いという面

で、子育てには恵まれた環境にあるということで、グッドポイントとしました。

自然環境については強みと弱みが半々で、公園や畑が多く、都会かつ田舎で良いという意見に加え、博物館があるという強みもあります。

強み・弱みのまとめとしては、子育てと自然環境は比較的強み、安全・安心、つながりという面は弱み、というのがグループでの意見でした。

これらを踏まえて、目指すべき方向性のキーワードについては、自治に市民が積極的に参加する、市民参加型をもっと強く打ち出す必要があるという意見が出ました。また、新規住民や若者が参加しやすい仕掛けを作っていく必要があるという意見も出ました。企業の地域貢献への働きかけや老朽化施設を市民とコラボして再利用するという話も出ました。

最後に、「特徴があるまち」がキーワードとして挙げられました。個人的な意見としては、基地跡地がセントラルパークになればニューヨークにも負けない都市公園になると考えていることに加え、テレビの花見で映るのは目黒川ですが、それを黒目川にしたい、という夢を持ってディスカッションしました。以上です。

○中村会長

酒井委員、Cグループの発表ありがとうございました。

以上で各グループからの発表は終わりましたが、それぞれにグループの特徴が出ていたと思います。次に検討課題とすべきは、ここで表出された意見や提案、アイデア等を第6次朝霞市総合計画にいかにか反映していけるかです。委員全員で英知を出し合っていきましょう。

それでは、ただいまの3グループからの発表について、何か御意見等があれば、お出しください。お願いします。

○委員一同

意見なし。

○中村会長

委員の皆様からは、特に御意見等は無いです。

それでは、本日のワークショップにおいて出た御意見等については、事務局で整理し、取りまとめて、後日審議会へ報告してください。ワークショップの結果がどうであったか、参加した委員の皆様から出た朝霞市の強み・弱みに関する課題等と、その解決に向けて今後の朝霞市が進む方向性などについて整理したものをお願いします。

委員の皆様には、次回の審議会で、本日のワークショップの概要について報告があると思いますので、今日のワークショップの総括は省略します。次回の審議会において、事務局から御報告があった際に、改めて委員の皆様から御意見を頂戴します。よろしくをお願いします。

### ◎3 閉会

○中村会長

本日の審議会は、これまでの、議題について審議する会議に変えてワークショップを実施しました。この機に審議会でワークショップを実施することについての御批判もありましたが、委員間における朝霞市の現状把握と情報の共有という観点からはそれなりに意義があったと思います。限られた時間でしたが、それぞれの委員の朝霞市に対する思いやグループの特徴などが垣間見られて貴重な時間でした。

次回の審議会は、6月3日(月)を予定していますので、よろしくをお願いします。本日は、ワークショップの実施、運営に御協力いただき、誠にありがとうございました。

それでは、事務局から連絡事項等がありますか。

○事務局(齋藤主幹)

本日はありがとうございました。

本日の会議で出された御意見を整理し、市民意識調査等と合わせて基本構想の検討に生かしてまいりたいと考えています。

○中村会長

以上をもって、本日の審議회를終了します。御出席ありがとうございました。